

4/28

小瀬高等学校デュアルシステム提携協定書調印式

県立小瀬高等学校の会議室で、デュアルシステム提携協定書調印式が行われました。デュアルシステムとは、主に工業高校が取り入れていて、教育課程に企業派遣実習などを採用し、授業の単位として認定するものです。

今回、小瀬高等学校福祉コースと市内の介護施設等が、福祉分野では県内初となるデュアルシステム協定を結びました。これまで小瀬高校では147人が福祉コースで学び、資格取得のためにヘルパー研修など施設での実習を行ってきた実績があり、その多くが福祉施設へ就職しています。

この協定を結んだことによって、福祉コースの3年生6名が10月から13日間、就職を希望する施設を優先して実

習を行います。

介護施設の現場で実習を重ねることで、働くことの喜び、社会の厳しさを学び実社会の模擬体験をします。

調印式のなかで、生徒代表決意表明として手塚詩織さんが「少子高齢化が進む社会に貢献できる人間になれるよう精いっぱい頑張ります」と力強く述べました。

また、生徒をさまざまな立場・視点から応援するため、調印式後には福祉デュアルシステム運営指導委員会（運営指導委員長：廣原紀恵茨城大学教授）が発足しました。今後、この委員会を通して生徒の実習の後押しをしていきます。



▲ 決意表明する手塚さん



▲ 調印式終了後の記念撮影

5/8

久慈川で鮎の稚魚放流

鮎の稚魚の放流が、久慈川漁業協同組合の協力により、道の駅常陸大宮かわプラザの河原で行われました。

この放流には、総合的な学習の時間を利用して大賀小学校の4～6年生34人が参加しました。放流されたのは、体長12センチメートルほどの約5,000匹の稚魚。

児童たちは、バケツに入った稚魚を次々と久慈川に放流しました。参加した児童のひとり「大きくなって帰ってきてくれることを願って放流しました」と話していました。

放流のあと、大賀小学校の児童は河原のごみ拾いをして環境の美化に努めました。



▲ 放流の様子



▲ ごみ拾いをする児童たち

5/1

常陸大宮高校スケアード・ストレイト交通安全教室

県立常陸大宮高等学校で1～3年生全員を対象にしてスケアード・ストレイト教育技法※を用いた交通安全教室(主催：大宮署・常陸大宮高校、後援：JA 共済連茨城)が行われました。

教室では、校庭に模擬道路等を作り、プロのスタントマンが実際に起こった交通事故を再現。車が自転車に衝突する事故や自転車同士の事故、歩行者が運転手の死角に入り引きずり込まれる様子や、大型車の内輪差による巻き込み事故などを見学しました。

さまざまなパターンで、本物さながらの事故の再現を目の当たりにした生徒からは時折悲鳴があがりました。

この教室を通して生徒たちは、一瞬の不注意や交通ルールの無視などから起こる交通事故の恐ろしさを体感しました。そして交通事故に遭わないためには、交通ルールを守り、危険予測をすることが重要であると学びました。

※スケアード・ストレイト教育技法とは、危険な自転車走行に伴う交通事故の実演により、生徒に危険性を疑似体験させる技法のこと。



▲ 真剣に見つめる生徒たち



▲ あっ！事故だ!!



▲ 交通安全の誓いをする生徒会長



食べ物の紹介

パラオではタロイモやフルーツ、魚介類などの地元の新鮮な食材がよく食べられています。熱帯雨林気候であるパラオは、米を栽培することができず、アメリカやタイから輸入しています。輸入品は値段が高いため、入手が難しく、米の代わりにタロイモやタピオカを主食としてきました。タロイモは温暖な地域で作られている根菜で、日本のサトイモもタロイモの一種です。

また、パラオは太平洋に浮かぶ島々の国なので、多くの魚を捕まえることができます。昔から唯一のタンパク源として魚が食べられてきました。そのため、私は日本の「さしみ」や「寿司」も大好きです。

その他にも、パラオではココナッツをデザートとして食べることが多く、ココナッツキャンディーや、ココナッツ入りパンプキンなどを作って食べます。とってもおいしいですよ！

パラオ共和国について紹介します

alii アリー (パラオ語でこんにちは)
お寿司大好き！今月は私ジェニーがパラオの食べ物について紹介します。
パラオに親しみを持ってもらえたら嬉しいです♪

日本に来て感じたこと

「ワオ！」これは私が初めて日本に来て、何度も発した言葉です。日本がどんなに素晴らしいところであるか、ということに驚いただけでなく、たくさんの自動販売機があることや、常にいろいろな種類の飲み物が揃っていることにも、とてもびっくりしました。

日本は私にとって、いつも遠い国で、神秘的なところのように思っていたので、自分が本当に日本にいたことが信じられず、夢が叶った嬉しさで涙がこぼれそうでした。私は日本人を敬愛しています。非常に競争的な社会ではあるけれども、日本人はいつも互いに敬意を払い、礼儀正しく、とても謙虚です。その姿勢は、とても目を見張るものです。素晴らしいと思いました。

常陸大宮市の皆さん、私のことを見かけたら、声をかけてくださいね！

いきいき茨城ゆめ国体2019

第74回国民体育大会

翔べ 羽ばたけ そして未来へ

国内最大の総合的なスポーツの祭典である国民体育大会が、昭和49年に行われた第29回茨城国体『水と緑のまごころ国体』以来、45年ぶりに茨城県で開催されます。本市もさまざまな競技の会場となっていますので、みなさんと国体を応援しましょう。今回はいきいき茨城ゆめ国体の概要などを紹介します。

《第74回国民体育大会の概要》

名称 第74回国民体育大会

愛称 いきいき茨城ゆめ国体

スローガン 翔べ 羽ばたけ そして未来へ

期間 平成31年9月28日(土)～10月8日(火)11日間

総合開・閉会式会場 笠松運動公園陸上競技場

(ひたちなか市佐和2197-28)

《常陸大宮市開催競技》

種目 なぎなた競技(正式競技)

会場 西部総合公園体育館

会期 平成31年9月29日(日)～10月1日(火)3日間

マスコットキャラクター
いばラッキー



幸運のエネルギーでできたラッキー星のかけらがはじけて、地球の茨城にやってきました。手を振ると左手の緑のハートからは「夢を描くパワー」を、右手のオレンジのハートからは「勇気のパワー」を発することができます。みんなに幸運を届けることが大好きで、好奇心が旺盛!!頭にあるアンテナで幸運の届け先をいつも探しています。

4/24

いきいき茨城ゆめ国体常陸大宮市実行委員会

いきいき茨城ゆめ国体2019開催に向けて、本市では既に昨年9月21日に常陸大宮市実行委員会(会長：三次市長)が設立されています。

本年度の第1回常任委員会及び第2回総会が、くりにーとセンター大宮で開催されました。総会には約60人の実行委員が出席し、前年度の事業報告、今年度の事業計画及び予算について審議し、承認されました。

今年度の事業は、来年3月4日にミニ競技会を行います。これは来年度(平成30年度)に行われる国体リハール大会の円滑な競技運営力の向上と予行練習を兼ねて実施するものです。

また、市民総参加のもと一丸となって大会を盛り上げられるよう市民運動として、花いっぱい運動、ポスターコンクール、ボランティア、協賛の募集等を実施する予定です。実行委員会では今後、総務企画、競技式典、宿泊衛生、輸送交通の4つの専門委員会を設置し、大会成功に向けて準備を進めていきます。



▲挨拶する三次市長

5/20

美和小・緒川小茨城国体ダンス

市内の小学校で一斉に運動会が開催され、美和小学校・緒川小学校では、児童による茨城国体ダンスが、いばラッキーとともに発表されました。



▲ 緒川小学校運動会でのダンス

5/21

県民総体兼国体茨城大会

西部総合公園体育館で、平成29年度県民総合体育大会兼第72回国民体育大会茨城県大会なぎなた競技が開催されました。当日は、少年の部、成年の部で演技競技、試合競技が行われました。選手は、日ごろの修練の成果を発揮すべく集中した演技、試合を披露しました。



▲ 気合十分の試合競技

5/3 地元の野草を知ろう！

地元の自然を知り、自然を楽しみながら、野草の香りと普段味わえない味を知ってもらうことを目的に、野草を味わう会（主催：市環境市民会議）が開催されました。

緒川薬草研究会の協力により予め採取しておいた野草を、緒川総合センター調理室で山菜おにぎり3種と天ぷら、おひたしなどに料理し、野草のお弁当を作りました。その後、おがわふれあいの森に移動して森を散策しながら、春の野草の名前や野草が育つ環境などについて説明を受けました。お昼には自分たちで料理した野草のお弁当を楽しみ、自然を満喫した1日となりました。



▲ 野草を調理する様子

▲ 野草のお弁当

5/18 「地域の現状と課題」について意見交換

市議会では、議員自らが地域に出向き、議会活動の状況を報告するとともに、貴重な意見を直接聞き、意見を交換する場として、議会報告会を開催しています。

市内2会場（大宮・緒川）で、同時刻に同じ内容で開催され、緒川会場では県立小瀬高等学校の生徒も参加。2会場で合計133人の参加がありました。

小瀬高校生からは「通学路の道路状況が悪いので直してほしい」、「那珂市や旧桂村方面からのバスがあれば小瀬高校の生徒が増える」など身近な問題への質問が投げかけられました。市民からは、駅周辺整備やイノシシ対策、集落支援員制度などについて意見、要望があり、それらについて議員は丁寧に答えていました。



▲ 大宮会場の様子

5/12 LPGAステップアップツアー表彰式

市内小場にある静ヒルズカントリークラブで、LPGA（Ladies Professional Golf Association）ステップ・アップ・ツアー静ヒルズレディース森ビルカップ2017（主催：一般社団法人日本女子プロゴルフ協会）が開催されました。

本市はこのツアーを後援。3日間に及んだ熱戦を制し、初代チャンピオンとなったのは、アマチュアの明秀学園日立高等学校3年生平塚新夢選手でした。

平塚選手は優勝スピーチで「予選会から出場したこの大会で優勝できて嬉しいです。皆さんありがとうございました。」と話していました。

優勝の副賞として、常陸大宮市と那珂市の両市から、特産品の詰め合わせセットが贈られました。



▲ 副賞を手渡す綿引副市長

5/22 緑のカーテンづくり講習会

講師にグリーンアドバイザーの小瀬梅子さんを招いて、緑のカーテン作り講習会（主催：市環境市民会議）が開かれました。

参加した8人は、以前にも緑のカーテン作りに挑戦したことがある人、今年初めて取り組む人と様々。緑のカーテン仕立てにする植物は、夏野菜のゴーヤ。聞きやすく分かりやすい解説のあと、苗を使った実技を行い、土の作り方、支柱の立て方、摘心の仕方、追肥について学びました。

参加者からは積極的に質問や失敗例が挙げられました。講師から丁寧に解説や原因を説明されると、納得した様子で参加者同士話が弾んでいました。

今夏には、皆さんが一生懸命育てた素敵な緑のカーテンを見られることでしょう。楽しみです。



▲ 実技に取り組む参加者のみなさん

5/13 ピジョン赤ちゃん誕生記念育樹キャンペーン植樹式

ピジョン株式会社による第31回ピジョン赤ちゃん誕生記念育樹キャンペーン植樹式が、美和地域のピジョン美和の森で開催されました。

「育児と育樹、心はひとつ」をスローガンに1987年から続くこの植樹活動は、赤ちゃんを育てること（育児）と木を育てること（育樹）が、どちらも周囲の人たちの温かい愛情に守られて成人（成木）になることに相通ずるという考えに基づき毎年行なわれてきました。



▲ 式典は和やかな雰囲気の中で

当日は朝から激しい雨が降り、敷地内にある「すくすくハウス」で行われた式典では、参加者を代表して2家族が感想を述べると会場は和やかな雰囲気に包まれ、参加者全員が改めて「子育て」への思いを共有したようでした。両家族へはピジョン株式会社と市から記念品が贈られました。雨の影響で中止も検討された植樹でしたが、足場の悪い中、美和木材協同組合の協力により、参加した全家族が無事に広葉樹の苗木を植えることができました。



▲ 無事に植樹しました

5/14 川原の音楽会2017

川原の音楽会2017が家と楽の河川敷で開催されました。今年は、前日の雨の影響で予定していたSUP（サーフボードに乗って漕ぐスポーツ）は実施できませんでしたが、演奏時間を10時から16時まで設けたため、河原でゆったりと音楽を楽しめました。

観客は、時折通過する水郡線の列車に手を振ったり、農村公園内の出店ブースから昼食などを購入して、好きな場所で演奏を楽しみながら、美味しく口に運んでいました。また、今回初めて市が所有する移動式赤ちゃんの駅を設置。テント内で授乳やおむつを交換できる場所を確保し、赤ちゃんも参加しやすい環境を整えました。

さらに、茨城大学航空技術研究会の学生がドローン（無人航空機）を上空に飛ばして、リハーサルを空撮するなど、新しい試みも始まった音楽会となりました。



▲ 赤ちゃんの駅

▲ 音楽会の様子

5/14 オカリーナコンサート

緒川地域のオカリーナの森で「2017春 宗次郎森の音楽会 in 常陸大宮」が開催されました。

来場者は、小瀬沢口の駐車場から会場である野外音楽堂までの700mの遊歩道を歩きながら、新緑の森の爽やかな空気を楽しみました。

野外音楽堂に心地よい風が吹き抜けるなか、観客は、木々のざわめきや小鳥のさえずりとともに、森の中に響きわたる宗次郎さんのオカリーナ演奏の澄んだ音色に耳を傾けていました。

また、演奏会の最後にはお楽しみ抽選会があり、当選番号が発表されるたびに大きな歓声があがりました。



▲ 新緑の野外音楽堂

5/15-6/16 国際交流協会写真展

市役所本庁舎1階ロビーで、市国際交流協会主催～世界の友と手をつなごう～国際交流写真展が開催されました。

本写真展では、平成25年から平成28年に市国際交流協会が実施した海外訪問交流会、国際交流フェスティバル、外国料理講習会などの国際交流活動の写真が多数展示されました。

また、エチオピアや中国などの国際色豊かな民族衣装や、オーストラリアやフィリピンなどの工芸品も展示され、じっくり鑑賞する市民の方々の姿が多く見られました。



▲ 熱心に写真展に見入る皆さん

5/20 笑顔があふれる！おみや元気食堂

「いま子育て中のお母さんは、かつての自分なんです」と話す代表の山崎さん。昨年12月に、志村大宮病院施設内のカフェテリアエルマウに、おみや元気食堂（月1回開催）をオープンしました。

主婦たちがボランティアで調理・接客を担い、この活動に賛同したJA常陸営農経済センター・直売所生産者、いばらく乳業（株）、水戸ヤクルト販売（株）が無償で食材を提供しています。

山崎さんは、「この食材を使った『おいしい常陸大宮』をみんなと一緒に食べて、元気になれる場所にしたい」と話していました。

※次回は7月15日（土）開催予定。



▲ 真心のこもった温かい昼食を提供

5/23-25 大宮ばら愛好会展示会

本市の花はバラ。市役所1階ロビーで大宮ばら愛好会会員によるバラの展示が行われました。40個もの器に飾られた色とりどりのバラが一斉に展示され、ロビー内はふんわりとバラの香りに包まれました。

会長の荒井保さんは「今年は暖かい日が多くバラが散ってしまうのではと心配しましたが、無事に展示会ができて良かったです」と話していました。会員の皆さんが毎日のように手入れをして綺麗に花を咲かせた数々のバラは、市役所を訪れた人々の心を和ませていました。



▲ 展示されたバラ

5/25-28 押し花合同作品展

北町のふれあいギャラリーで、第4回押し花合同作品展が開催されました。これは、大宮公民館で講座を開講しているサロン花工房とコスモスの会が主催し、会員が制作した作品を展示したもの。時間が経っても花色が変わらない手法での押し花は、まるで絵画のようで見る人を感動させる力がありました。

また、作品展では多くの人に押し花の魅力や楽しさを知ってもらおうと押し花体験会が開かれ、幼児から大人まで多くの来場者がキーホルダーや葉書をキャンバスに押し花を楽しんでいました。



▲ 作品展の様子

Vol.36

職員のつぶやき ～職員リレートーク～



▲ 頑張りますので応援してください！

昨年4月に常陸大宮市消防本部に採用された鈴木聖弥です。私は4月から9月までの5カ月間、茨城町にある茨城県立消防学校に入校し、消防士としての基本的な知識と技術を学んできました。

9月から東消防署に配属され、消防士として火災や救急の現場に出動しました。訓練で行くことと現場での活動とは全く違い、現場活動の大変さを実感しました。

消防士となり1年を終え、やっと慣れてきた部分と、まだまだ知識や経験が不足している部分があります。日々訓練、勉強に励み、一人前の消防士になりたいと思います。そして市民のみなさんの生命と財産をしっかりと守っていきます！

知っていますか？市役所の桜にまつわるこんな話

市役所本庁舎の周りには、樹齢70年を越す桜の木が何本もあり、お花見スポットとして人気があります。市役所庁舎が建つ前からある桜、この桜についての寄稿がありましたのでご紹介します。

※寄稿いただいた文章を編集して掲載しています。

～桜の思い出～

市役所の桜、毎年楽しみに開花を待つ1人です。

現在の市役所一帯には、終戦後の学校教育制度の改正により開校された初期の大宮中学校がありました。

私たち昭和10年・11年生まれの同期生は、昭和23年4月に新制中学校へ入学しました。木造平屋の東西に延びた、南向きの長屋風校舎が二棟築造されていたと記憶しています。その西側の一段低い畑にグラウンドが整備されることとなり、全校生徒、教職員、関係者も一緒に整備をしました。体育の時間には、グラウンドの水はけを良くするため、蒸気機関車で使った石炭の燃えカス（『炭カラ』と呼んでいた）を、常陸大宮駅から袋に詰めて徒歩や荷車で運搬したり、久慈川の河原から袋に詰めた砂を徒歩や木炭トラックで学校まで運びました。大きな石製のローラーでの整地作業も重くて大変でしたが、とても水はけが良くなり、コンディションが良いグラウンドとして好評でした。

昭和24年にグラウンドが完成し、大宮中学校に野球部が

スタートすると、私を含め同期10数人が入部しました。そして、このグラウンドの完成を祝って、PTAや保護者が桜の苗木約30本をグラウンドの周りに植樹するのを野球部員全員で手伝いました。

今、市役所となった庁舎の東側には、時代は変わってもみんなで植樹した“あの桜”が毎年見事な花を咲かせています。

今年4月15日に見た、少し強い南風に吹かれて舞う桜吹雪が桜の老樹が見えなくなるほどの勢いで舞い落ち、見事な絵画を見ているようなその景色は、今でも目を閉じると想い浮かびます。

現在は当時の思い出を語り合う仲間も少なくなり、寂しさが増していますが、来年もまた観ることができることを祈りつつ、この桜への想いを書き留め、拙文の筆を置きます。

平成29年4月 田村雄一郎
（常陸大宮市下町在住）

スポーツ大会結果

第13回常陸大宮市近郊 中学校女子バレーボール大会

開催日：平成29年5月3日・4日
主催：一般財団法人常陸大宮市体育協会
会場：西部総合公園体育館、御前山トレーニングセンター
参加チーム：24チーム
優勝 常陸大宮市立山方中学校
準優勝 常陸太田市立金砂郷中学校
第3位 ひたちなか市立田彦中学校
東海村立東海南中学校



▲優勝した山方中学校

第5回常陸大宮市近郊 中学校女子ソフトボール大会

開催日：平成29年5月14日
主催：一般財団法人常陸大宮市体育協会
会場：西部総合公園多目的グラウンド
参加チーム：8チーム
優勝 ひたちなか市立大島中学校
準優勝 常陸大宮市立大宮中学校
第3位 ひたちなか市立那珂湊中学校

おめでとう!!



地域おこし協力隊

No.14

がゆく

地区活性化担当の志賀です。5月6日に諸沢地区で、手植えでの田植え体験イベントを開催しました。

当日は都内からの参加者や茨城大学生、パラオ共和国からの研修生など国籍や年齢の異なる約15人が参加し、さらに見物に来た人々を含めると30人以上が田んぼに集まりました。参加者は初めて田植えをする人ばかりで、最初はぬかるむ足元に戸惑っていた様子でしたが、徐々に歩き方や植え方のコツを掴み、きれいに植え終えることが出来ました。



▲みんなで一生懸命植えました！

今回のイベントの企画・開催を通して私が一番感じたことは『何事も経験である』ということです。初めてのイベント企画で参加者が思うように集まらずに不安だったこと、何をどう準備してよいのか分からず手探りだった時に、多くの人が力を貸してくださり非常にありがたかったこと、これらは行動を起こさなければ感じ得ないことでした。「疲れたけど楽しかった」という参加者や「この年になって、にぎやかな風景がまた見られるなんて嬉しい」という見学に来たおばあさんの声を聞き、無事に開催できて良かったと一安心です。9月の稲刈りまで心を込めてお米を育てていきたいと思っています。



いっしょにまちづくり



大宮第二中 1年
坂本 春花

私は、5月14日（日）に開かれた川原の音楽会を母と一緒にお手伝いしました。去年は来場者として訪れて演奏を聞いたりしたのですが、今年は自分も実行委員の一員として会場でお手伝いしてみると、見ていだけでは気が付かなかった発見もあり、とても楽しかったです。大人の市民の方たちが実行委員会を作って、企画や運営などを行っていること、たくさんの方の協力でこのようなイベントが開催されるのだということが分かりました。

また、私達中学生にも色々できることがあることも分かり嬉しかったですし、これからも機会があればお手伝いをしたいと思います。川原の音楽会は、常陸大宮市の自然の素晴らしさを実感し、この素敵な環境で、美しい音楽や美味しいものを楽しむことのできるイベントです。このような市の魅力を活かしたイベントが開催されることをもっともっとたくさんの方に知ってもらい、参加してほしいと思います。